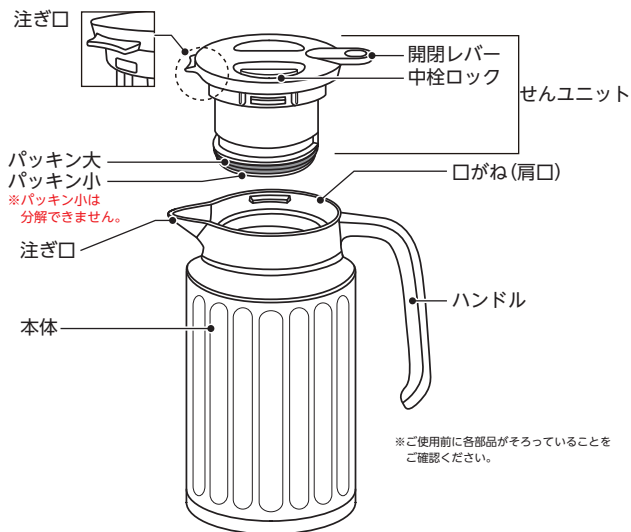


ステンレス製卓上用まほうびん

取扱説明書 DMTP1.5

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この製品は家庭用です。飲みものの保温、保冷以外には使用しないでください。
また、業務用として使用しないでください。ご使用前に、この取扱説明書をよく読んでから使用してください。お読みになった後も、いつでも見られるように大切に保存してください。

各部のなまえ



説明書中のイラストは実際のものとは異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

ご使用になる前に

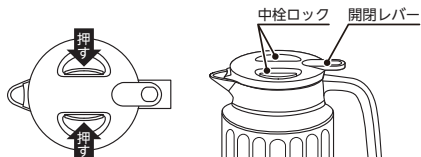
- はじめてご使用になる前に、本体の傷・凹み、せんユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールははがさないでください。
- はじめてご使用になる時は、本体内側・せんユニットを食器用洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシなどでよく洗ってください。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合は、ご使用にならないで、お買い求めのお店または当社お客様相談室までご連絡ください。

ご使用方法

※せんユニットのパッキン（2カ所）が正しく取り付けられていることを確認してください。
正しく取り付けられていないと漏れの原因になります。

1 せんユニットを開ける。

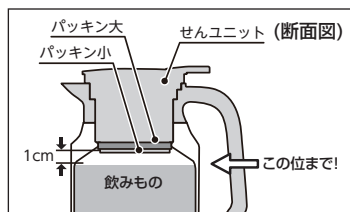
中栓ロックを矢印の方向に
押して開けてください。



2 お湯（冷水）を入れる。

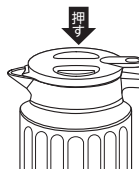
お湯（冷水）の量は図の位置までにしてください。
熱いやかんを口がね（肩口）に触れさせないで
ください。

本体に少量の熱湯（冷水）を入れ、数分間予熱
（予冷）すると保温（保冷）に効果的です。



3 せんユニットを閉める。

せんユニットを口がねにのせて左右のロックが
カチッと音がするまで押してください。

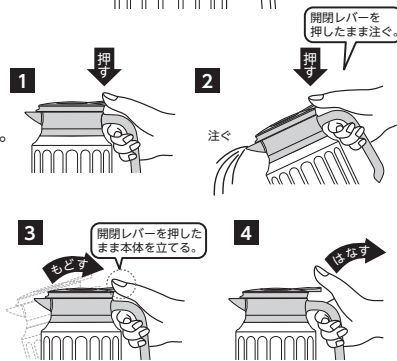


4 お湯（冷水）を注ぐ。

1. ハンドルを持ち開閉レバーを押下げます。
（開閉レバーを押したまま注ぎます。）

2. 本体を立ててから、開閉レバーを
離してください。

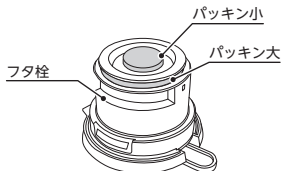
注 注いだ後、本体を傾けた状態で開閉レバーを
離すとせんユニット内に飲みものが残り、
漏れの原因になります。



パッキンの取り付け方・はずし方

パッキンの取り付け方

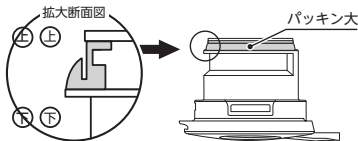
注 パッキンは正しく取り付けてください。
パッキンが正しく取り付けられていないと
漏れの原因になります。



※パッキン小は分解できません

パッキン大

せんユニットの溝にパッキンをはめ込み、
周囲を内側に寄せるように押し込んで
ください。上下の向きを間違えない
ようにしてください。

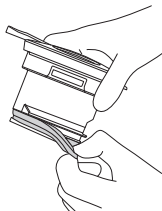


パッキンのはずし方

パッキン大

パッキン大をフタ栓から
引き下げて取りはずしてください。

※ご使用後はいつでも清潔にご使用いただくために
必ずお手入れをしてください。

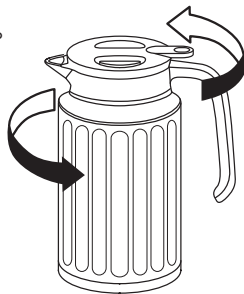


ターンテーブル

本体を回して持ち上げることができます。

※急な回転は転倒や落下の原因となりやけどや
思わぬケガとなり危険です。

※持ち上げる際は、ハンドルを持って
ください。



お手入れについて

- お手入れはぬるま湯でうすめた食器用洗剤を使用してください。
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保存してください。

本体のお手入れ

市販のボトル洗浄用ブラシなどできれいに洗い、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。

本体内側の汚れが落ちない場合、水で薄めた酸素系漂白剤を本体内側に入れ30分間(目安)つけ置きしたあと、よく水で洗ってください。

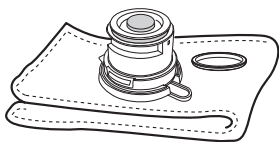
注 酸素系漂白剤を使用する際は、本体はせんユニットで密閉しないください。本体の内圧上がり、せんユニットが破損する恐れがあり危険です。酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

注 本体は水中に放置しないください。



せんユニットのお手入れ

それぞれきれいに洗い、水分を拭きとって、十分乾燥させてください。長期間ご使用にならない場合は、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させてから保存してください。洗浄後パッキンを装着する場合は、パッキンの付け間違いのないようにパッキンの上下を確認してください。



お手入れ上の注意

●お手入れの際は次の点を必ず守ってください。

■本体・せんユニットは煮沸しないでください。

熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因にもなり危険です。

■食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。

熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因にもなり危険です。

■本体・せんユニットは水中に放置しないでください。

サビや穴あきなど故障の原因となります。

■塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、金属タワシ、みがき粉、クレンザーなどは使用しないでください。

サビやキズ、保温・保冷不良の原因になります。

■本体外側には漂白剤を使用しないでください。

本体塗装・注意シールなどの剥がれの原因になります。



警告

- こどものいたずらに注意して、乳幼児の手の届くところには置かないでください。ヤケドの原因となり危険です。



使用上の注意

- パッキンが確実に装着されていることを確認してください。

飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。

パッキンの取り外しの際には紛失及び未装着に注意してください。

- 飲みものの保温・保冷以外には使用しないでください。

- ストープやコンロなどの火気に近づけないでください。

ヤケドや製品の変形、変色の原因になります。

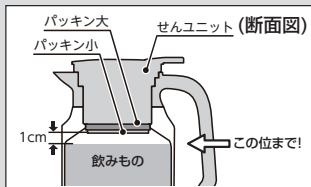
- 電子レンジでの加熱はしないでください。

火花が飛び危険です。

- 冷凍庫には入れないでください。

- 飲みものの量は右記図の位置までにしてください。

入れすぎるとせんユニットが開かなくなったり、せんユニットを閉めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。また、使用中に漏れ、ものを汚す原因になります。



- 沸騰直後の飲みものを入れるとせんユニットが熱くなる場合がありますので、ご注意ください。特に、本体を横にするとせんユニットに熱が伝わりやすくなりますので、本体を横にした状態で放置しないでください。

使用上の注意

● 次のものは絶対に入れないでください。

■ ドライアイス・炭酸飲料水

内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。

■ みそ汁・スープなど塩分を多く含んだもの

本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、塩分によりサビの原因になります。

■ 牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの

成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。

■ お茶の葉・果肉

すきまなどにつまり、漏れてヤケドやものを汚す原因になります。

● スポーツドリンクを入れた場合は、使用後すぐにお手入れしてください。

カビの発生やサビ、穴あきなど故障の原因となります。

● においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。

「お手入れについて」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

● 落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。

変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。またせんユニットの破損原因になります。

● 改造・修理・分解は絶対にしないでください。

故障、事故の原因となり危険です。

● **パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。**

万一、飲みものが漏れた場合、精密機器の破損・故障の原因になる恐れがあります。

● ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。

お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となる恐れがあります。

● 大きな氷を入れる時は押し込まずに小さくしてから入れてください。

変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。

● 持ち運びはハンドルを持ってください。

傾けたり、横抱きをされますとやけどや他のものを汚す原因になります。

● 本体を転倒させたり、ゆすったりしないでください。

飲みものが流れ出てやけどの恐れがあります。

● 不安定な場所や車の中に置かないでください。

転倒して飲みものがこぼれ、やけどや他のものを汚す原因になります。



使用上の注意

- 熱湯を入れた直後にせんユニットを閉めると、内圧が上がり開閉レバーが操作しにくくなったり、せんユニットが開きにくくなる場合があります。
せんユニットを閉めた後、すぐに開閉レバーを押し下げ内圧を抜いてください。
- 熱いやかん等を口がね(肩口)に触れさせないでください。
本体を転倒させる原因になったり、口がね(肩口)のキズや変形の原因になります。
- せんユニットを閉めた状態であっても倒したり、横置きにしないでください。
この商品は倒したり、横にしたりすると飲みものが漏れ出ることがございます。
これは、注ぎやすくするための空気穴を伝わって飲みものが漏れるためです。
故障や破損ではございません。
- せんユニットはカチッと音がするまで押してください。
中栓ロックの左右がカチッと正しくロックされている事を確認してください。
ロックされなかったり、片側だけがロックされた場合はせんユニットが外れる恐れがあります。
- 飲みものは図の位置よりも多く入れないでください。
せんユニットを閉めるときに漏れだしたり、熱湯の場合はふき出すことがあり危険です。

製品仕様

部品名		材料の種類
本体	内びん	ステンレス鋼
	胴部	ステンレス鋼 (アクリル樹脂塗装)
	注ぎ口	ポリプロピレン
	口がね	ポリプロピレン
	ハンドル	ポリプロピレン
	ターンテーブル	ポリプロピレン
せんユニット	注ぎ口	ポリプロピレン
	開閉レバー	ABS樹脂
	中栓ロック	ポリアセタール
	パッキン	シリコーンゴム

困ったときのQ&A

Q 飲みものが漏れたときは？

- A**
1. センユニットがしっかり閉められているか確認してください。
 2. 飲みものを入れすぎていないか確認してください。
飲みものの量は適正な位置までにご確認ください。
 3. パッキンが確実に取り付けられているか確認してください。
上下の方向を確認し、本体に正しく取り付けてください。
取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。
 4. センユニットが破損、消耗していないか確認してください。

Q 本体内側が変色したときは？

- A**
1. 汚れが付着している場合、食器用洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシなどでよく洗ってください。
 2. 斑点状の赤いサビが付着している場合水に含まれる鉄分などが付着したものです。
食酢を10%ほど薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、約30分後に市販のボトル洗浄用ブラシなどでよく洗ってください。
 3. ザラザラしたものが付着している場合
水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。
クエン酸を10%ほど薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、センユニットを取り付けずに約3時間後に市販のボトル洗浄用ブラシなどでよく洗ってください。

Q 保温・保冷が効かないときは？

- A**
1. 熱い(冷たい)飲みものをいれているか確認してください。本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、数分間予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。
 2. 飲みものの量が少くないか確認してください。
飲みものの量を多くすると効果的です。

Q 異臭がするときは？

- A**
- 本体内側、センユニットに汚れが付着していないか確認してください。
ご使用後は、きれいに洗い十分に乾燥させてください。
また、ご使用後は必ずお手入れしてください。

センユニットのパッキンは消耗品です。
1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、
表面のザラつきや損傷のある場合は交換してください。

部品のご購入について

- 交換部品は必ず当社の純正部品をご使用ください。
- ご購入は下記ホームページからご注文してください。

※お電話でのお問い合わせはお待たせする場合がございます。

また、お客様相談室より担当部署におつなぎいたしますのでお調べまでにお時間を頂戴しております。

価格や在庫についてのお問い合わせはインターネットをご利用頂いた方が早くご案内できますので、インターネット環境をお持ちのお客様は下記、Do-cookingをご利用ください。ご注文につきましても同じく、Do-cookingのご利用が便利です。

ご購入方法

<http://www.do-cooking.com/index.html> もしくは、QRコードにアクセスし、ご購入ください。

*Do-cooking画面上の「オンラインショップ」を選択（クリック）し、「商品検索」にて品番を入力して検索してください。品番は製品裏のシールに記載されています。

ドウシシャのパーツ購入は

Do-cooking 情報ページ

検索



<http://www.do-cooking.com/index.html>



携帯からはこちら

お問い合わせ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、当社お客様相談室までご連絡ください。

 株式会社ドウシシャ

お客様相談室

〒556-0023 大阪市浪速区稲荷1-6

0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※商品名、品番をご確認の上、お電話を頂きますようお願い致します。
※お電話を頂いた際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させて頂きますので、ご了承ください。

www.doshisha.co.jp

MADE IN CHINA



携帯からはこちら